

DT-156

デュアルタイプ膜厚計

本体の特徴

- 電磁誘導式/渦電流式のデュアルタイプ
- メモリー数: 320 (80 /1 グループ x 4)
- 統計データ表示
- 連続測定モードも可能
- ゼロ校正と標準板による簡単校正
- HとLアラーム設定
- 操作が簡単
- 自動停止機能
- 暗いところでも使用可能なバックライト機能
- 解析ソフトCD/USB ケーブル付き

用途

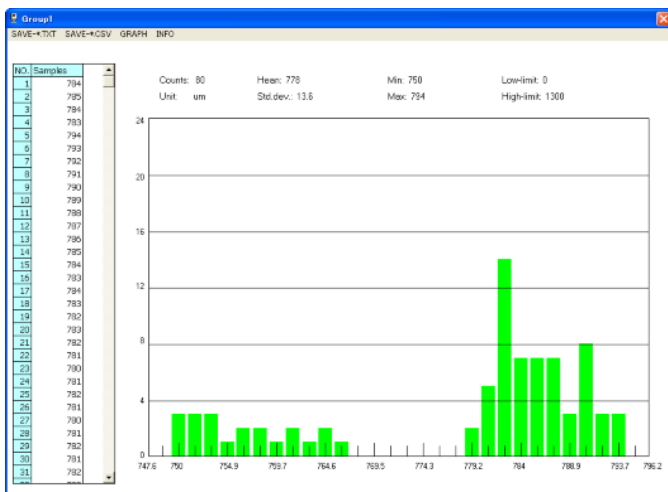
- 自動車塗装の被膜検査
- 機器、船舶、橋梁、鉄鋼構造物の塗装被膜測定
- 亜鉛、銅、クロム、スズのメッキ厚測定
- 樹脂、ゴム、ホーロー等のライニング厚測定
- 鉄素地の酸化膜、溶射膜測定
- アルミ製品、ステンレス製タンク等の塗装検査
- アルミ製品、アルミサッシ等のアルマイト測定
- その他多種



膜厚計 DT-156 は、デュアルタイプのため、磁性金属（鉄・鋼・フェライト系ステンレス）と非磁性金属（アルミ・アルミ合金・銅・オーステナイト系ステンレス）上の各種コーティングの被膜厚を測定できます。

DT-156 ではプローブを測定面にあて、プローブをスライドさせての連続測定モードも使用できます。この機能により、一定場所の膜厚値の誤差を簡単に判別できます。

測定データは本体内部のメモリーに4グループ(1グループ:80測定データ保存)に分け保存でき、本体に付属の解析ソフトとUSBケーブルを使用して簡単に測定データをパソコンにダウンロードすることができます。



Thickness ソフトウェア

Windows 2000, XP, Vista(32ビット)対応のソフトウェアは測定データヒストグラム(度数分布図)とグラフで表示します。測定データの平均値、最高・最低値、標準偏差を自動計算し表示します。測定データはテキスト形式とExcel形式で保存できます。

DT-156

膜厚計 DT-156 仕様

プローブ	F (電磁式)	N (渦電流式)
測定範囲	0 ~ 1250 μ m	
測定精度	0 ~ 850 μ m: (\pm 3%+1 μ m) 850 μ m ~ 1250 μ m: (\pm 5%)	0 ~ 850 μ m: (\pm 3%+1.5 μ m) 850 μ m ~ 1250 μ m: (\pm 5%)
分解能	0 ~ 50 μ m: 0.1 μ m 50 ~ 850 μ m: 1 μ m 850 ~ 1250 μ m: 0.01mm	
最小湾曲半径	(凸面) 5 mm	
最小面積	10 x 10 mm	
最小素材厚	0.5 mm	0.3 mm
電源	1.5 V 単4 電池 2 個	
使用環境	温度: 0 ~ 40 湿度: 20 ~ 90%RH (結露なきこと)	
付属品	校正用標準ファイル(58, 96, 250, 500, 997 μ m), 鉄とアルミ素材の標準板, 解析ソフト CD, USB ケーブル, 単4 電池 2 本, 日本語操作マニュアル キャリングケース	
サイズ・重量	113.5 x 54 x 27 (mm) 約 110 g	

仕様は予告せず変更されることあり。



税込標準価格 ¥ 52,500.-

お問い合わせは下記に;

MK Scientific, Inc.

Measuring Knowledge

日本正規代理店: **株式会社 エムケー・サイエンティフィック**

〒245-0063 横浜市戸塚区原宿 3-1-6 大川ビル

Tel: 045-852-7531 Fax: 045-852-7521

販売代理店: